

2018年2月政情(内政・外交)

1 内政

(1) 中国との二国間関係強化に関する法案等の議会提出

ア 6日、インカピエ外務大臣代行は、パナマ・中国間の航空便を就航させるための協定に関する法案を議会に提出した。本年3月より、中国国際航空(Air China)が、米国ヒューストン経由で、パナマと北京を結ぶ直行便を週2便就航させる予定である。

イ また、二国間海事協定に関する法案も議会に提出された。

2 外交

(1) 中国国務院僑務弁公室主任のパナマ訪問

ア 20日、Qiu Yuanping国務院僑務弁公室主任がパナマを訪問し、バレーラ大統領と会談を行い、外交関係樹立以降の二国間アジェンダの進捗状況を評価した。

イ 同主任は、「パナマとの外交関係樹立は中国にとって、2017年における最も重要な外交的達成であった」旨述べた。

(2) バレーラ大統領のアラブ首長国連邦(UAE)訪問

ア 25日から3月1日まで、UAEを訪問したバレーラ大統領は、27日、ハマド・ビン・ザーイド・アル=ナヒヤーン・アブダビ投資庁最高執行責任者、ムバダラ開発社幹部と会談し、パナマへの投資を働きかけた。

イ 28日、バレーラ大統領は、アロセメナ貿易産業大臣とハムダーン・ビン・ラーシド・アル=マクトゥーム・UAE財務大臣による二国間投資促進保護協定の署名に同席し、「UAEとの二国間関係強化は、大きな潜在的可能性を秘めている」と述べた。

ウ 同日、同大統領は、「パナマ・インベスト・ドバイ」において、UAE政府及び企業関係者へ、パナマの比較優位性を説明し、UAEを協力のためのプラットフォームとしつつ、中東、東南アジア、インド及びアフリカとの関係強化を目指す新外交戦略を発表した。

エ また、同大統領は、アフメド・ビン・サイド・アル=マクトゥーム・エミレーツ航空最高執行責任者他と会談し、「パナマとア首連を接続する路線開設へ向け協力が続けていくことが重要である」旨述べた。また、同大統領は、スルタン・ビン・スレイヤムDPPワールド社最高執行責任者と会談した。同最高執行責任者は、貨物に付加価値がつく港湾ターミナルの整備により、パナマを物流分野で最も競争力のある国にすることに関心を示した。

オ 同大統領には、サイン・マロ副大統領兼外務大臣、アロセメナ貿易産業大臣及びデ・ラ・グアルディア経済財務大臣が同行した。